

第3章 対象事業実施区域及びその周囲の概況

概況の把握は、対象事業実施区域が所在する君津市と隣接する市原市を対象とする。

3-1 自然的状況

1. 気象の状況

(1) 気象観測所測定結果

最寄りの坂畑地域気象観測所（位置は図3-1-1.3参照）における平成17年～平成26年の10年間の平均的な気象の状況は、表3-1-1.1及び図3-1-1.1に示すとおりである。

年平均気温は14.1℃で、月平均気温は8月に25.7℃と最も高く、1月に3.2℃と最も低い。年較差は22.5℃である。

年降水量は2,024mmで、10月に331mmと最も多く、1月に81mmと最も少ない。

年平均風速は1.0m/sで、4月に1.3m/sと最も強く、1月に0.7m/sと最も弱くなっている。

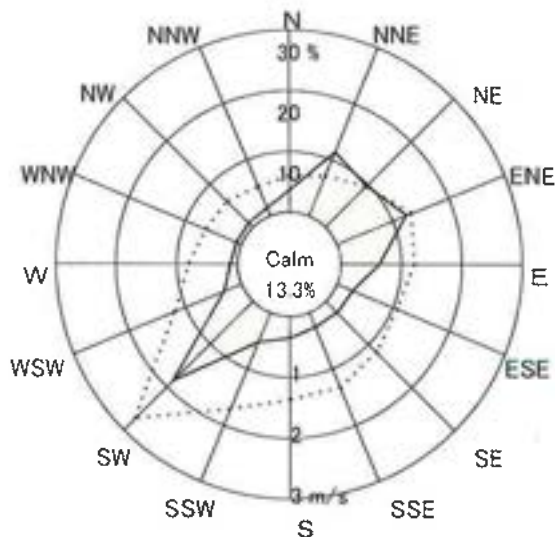
平成26年における風向の状況は、図3-1-1.2に示すように、北北東～北東～東北東の風、及び南西の風が卓越している。風速は南西の風の時に強い。

表3-1-1.1 気象の状況

坂畑地域気象観測所（平成17年～平成26年）

項目 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年
月平均気温 (℃)	3.2	4.3	7.7	12.2	16.8	20.3	24.3	25.7	22.1	16.7	10.8	5.6	14.1
月降水量 (mm)	81	121	158	207	198	218	137	109	192	331	135	138	2,024
月平均風速 (m/s)	0.7	0.9	1.2	1.3	1.2	0.9	1.1	1.1	1.0	0.8	0.8	0.8	1.0

出典：「気象庁ホームページ 気象統計情報」（気象庁）



注) Calm: 風速0.2m/s未満

出典：気象庁ホームページ 気象統計情報より作成

図3-1-1.2 風配図（坂畑地域気象観測所 平成26年）

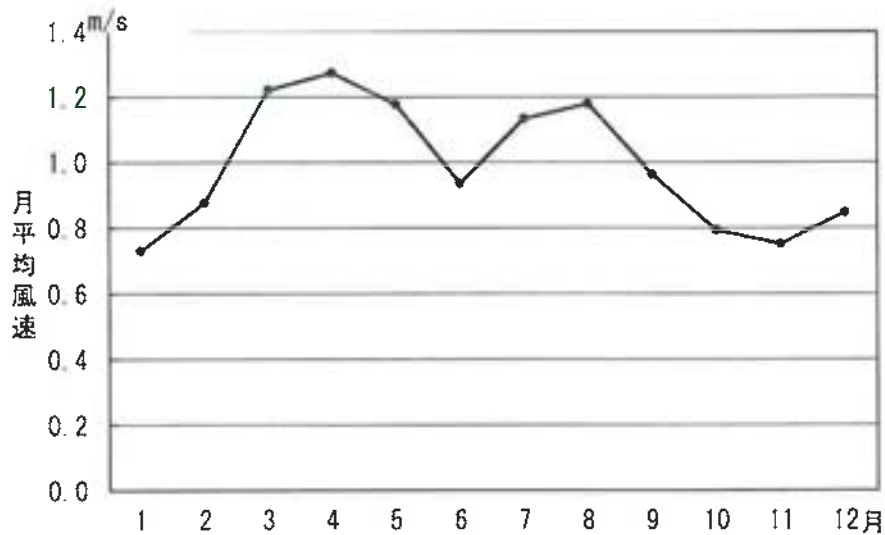
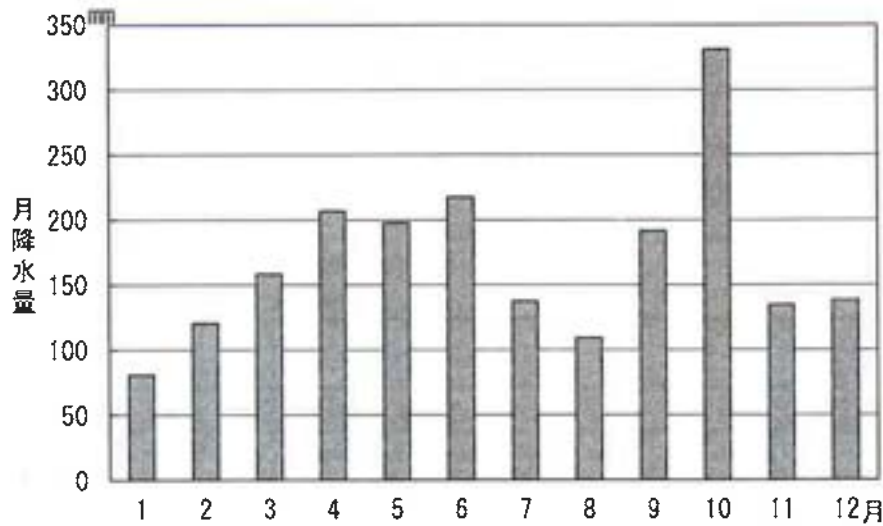
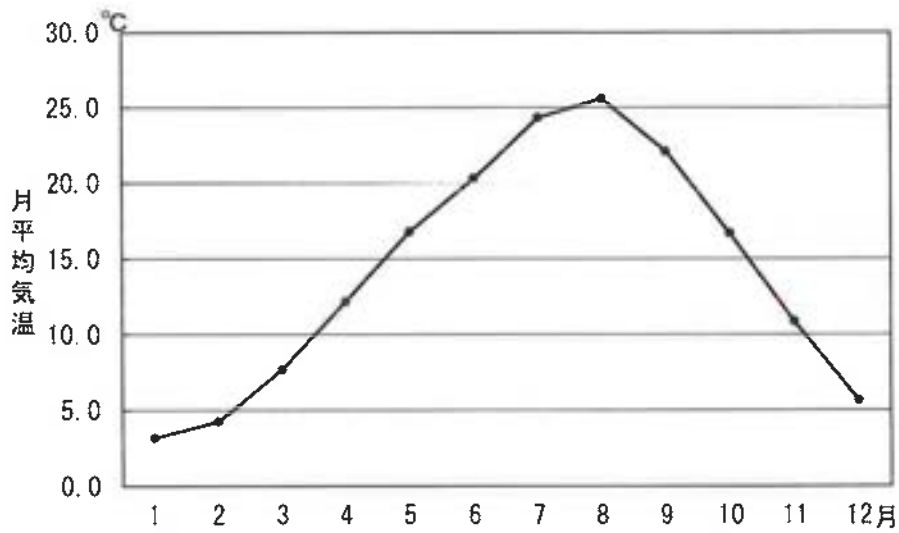


図3-1-1.1 気象の状況（坂畑地域気象観測所）
 （平成17年～平成26年（10年間）の月別データの平均）

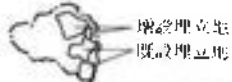


図 3-1 1.3 地域気象観測所、大気質測定局及び大気質等調査地点位置図

凡 例

- 地域気象観測所
- 一般環境大気測定局
- 気象・大気質既往調査地点

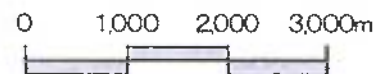
対象事業実施区域



出典：「平成26年度 大気環境常時測定結果」
 (平成27年8月 千葉県環境生活部大気保全課)
 「君津環境整備センター建設事業 生活環境影響調査書」
 (平成13年12月 新井総合施設株式会社)
 「君津環境整備センター増設事業に係る環境影響評価書」
 (平成21年5月 新井総合施設株式会社)
 「君津環境整備センター環境調査年報」
 (株式会社日鉄ウォーター、日鉄住金環境株式会社)



1 : 75,000



(2) 「H13 生活環境影響調査書」における調査結果

「君津環境整備センター建設事業 生活環境影響調査書」(平成 13 年 12 月 新井総合施設株式会社) (以下、「H13 生活環境影響調査書」という。) によると、事業実施区域の北方に隣接した石塚地点及び南方約 2.0 km の蔵玉地点 (位置は図 3-1-1. 3 参照) において気象調査を行っており、その結果は表 3-1 1. 2 に示すとおりである。

最多風向は、石塚地点は夏季が南西、冬季が西南西と南から西寄りの風向であるのに対し、蔵玉地点は夏季が西南西、冬季は北寄りの風となっている。平均風速は、夏季が 1.0~1.2m/s、冬季が 0.3~0.5m/s と冬季が弱くなっている。気温の期間平均値は夏季が 24.8~26.5℃、冬季が 7.6~7.9℃となっている。相対湿度は、夏季及び冬季ともに調査期間中に雨天日があったために、期間平均値が 90~93% と高くなっている。

表 3-1 1. 2 事業実施区域付近の気象の状況

調査地点		石 塚		蔵 玉	
調査期間		夏 季	冬 季	夏 季	冬 季
有効測定日数 (日)		7	7	7	7
風 向 ・ 風 速	平均風速 (m/s)	1.0	0.3	1.2	0.5
	最大風速 (m/s)	3.2	2.3	2.9	2.4
	最大風速時の風向	S W	W S W	W S W	N
	最多風向	S W	W S W	W S W	N
	最多風向の出現率 (%)	19.6	13.1	20.2	9.5
	静 穏 率 (%)	33.9	76.2	19.0	60.1
気 温	期間平均値 (℃)	24.8	7.9	26.5	7.6
	1 時間値の最高値 (℃)	29.0	14.2	32.9	14.7
	1 時間値の最低値 (℃)	20.9	1.7	21.0	0.0
	日平均値の最高値 (℃)	26.2	11.6	28.1	11.2
相 対 湿 度	日平均値の最低値 (℃)	22.6	4.5	24.0	4.1
	期間平均値 (%)	93	90	91	92
	1 時間値の最高値 (%)	100	100	100	100
	1 時間値の最低値 (%)	73	59	67	52
	日平均値の最高値 (%)	98	98	95	100
日平均値の最低値 (%)	87	77	85	82	

注) 調査年月日 夏季:平成 10 年 8 月 21 日~27 日

冬季:平成 10 年 12 月 4 日~10 日

出典:「君津環境整備センター建設事業 生活環境影響調査書」(平成 13 年 12 月 新井総合施設株式会社)

(3) 君津環境整備センターにおける降水量

君津環境整備センターにおいて測定されている平成17年～平成26年の10年間の年降水量の経年変化は図3-1-1.4に示すとおりであり、君津環境整備センターでは1,707～2,770 mm/年、坂畑地域気象観測所では1,514～2,373 mm/年で推移している。10年間の平均年降水量は、君津環境整備センターでは2,079 mm/年、坂畑地域気象観測所では2,024 mm/年となっており、君津環境整備センターの方がやや多い降水量となっている。月別降水量の年変化は図3-1-1.5に示すとおりであり、変化の傾向は両地点ともほぼ同様であり、月別では3～6月の春から梅雨期にかけてと9～10月の台風と秋霖期の時期に多く、特に10月が多い。一方、1月と8月の降水量は少ない。

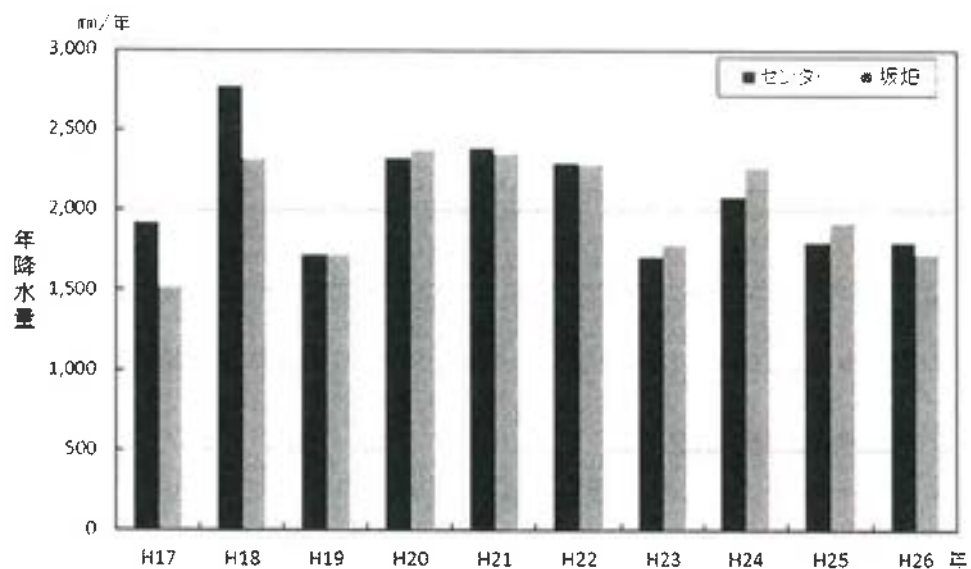


図3-1-1.4 君津環境整備センターにおける年降水量の経年変化

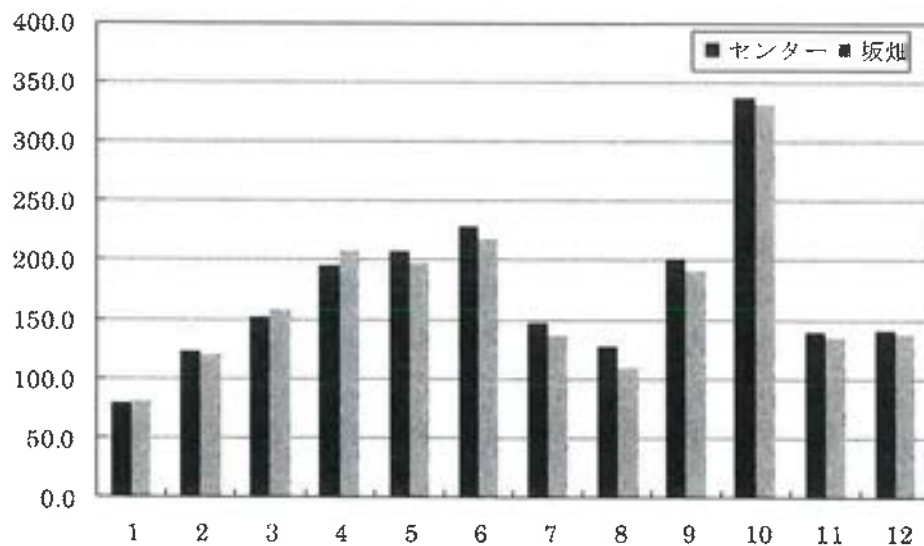


図3-1-1.5 君津環境整備センターにおける月別降水量の年変化
(平成17年～平成26年(10年間)の月別データの平均)

2. 大気質の状況

(1) 一般環境大気測定局測定結果

ア. 大気質の測定状況

事業実施区域周辺における大気質の一般環境大気測定局は、図3-1-1.3及び表3-1-2.1に示すとおり君津俵田測定局、市原平野測定局があり、同表に示す項目を測定している。

各測定局の事業実施区域からの距離は、両測定局とも約9.5kmである。

表3-1-2.1 事業実施区域周辺の一般環境大気測定局

測定局	用途地域	測定場所	測定項目					
			二酸化硫黄	二酸化窒素	光化学オキシダント	浮遊粒子状物質		
一般環境大気測定局	君津俵田	未	君津市俵田 1110	小櫃中学校	○	○	○	○
	市原平野	その他	市原市平野 123	加茂中学校	○	○	○	○

注) 用途地域 未：都市計画法第8条第1項第1号、第7号及び第9号のいずれにも該当しない地域

その他：上記のいずれにも該当しない地域

出典：「平成26年度大気環境常時測定結果」（平成27年8月）千葉県環境生活部大気保全課

イ. 環境基準の達成状況

各測定局における大気質の測定結果は、表3-1-2.2(1)～(4)に示すとおりである。

[二酸化硫黄]

平成26年度の二酸化硫黄濃度は、両測定局とも環境基準の短期的評価を達成している。また、日平均値の2%除外値は、君津俵田測定局で0.002ppm、市原平野測定局で0.004ppmとなっており、両測定局とも環境基準の長期的評価を達成している。

過去5年間は両測定局とも環境基準の短期的評価、長期的評価を達成している。

[二酸化窒素]

平成26年度の二酸化窒素の1日平均値の年間98%値は、君津俵田測定局で0.017ppm、市原平野測定局で0.014ppmとなっており、両測定局とも環境基準を達成している。

過去5年間は両測定局とも、環境基準を達成している。

[光化学オキシダント]

平成 26 年度の光化学オキシダントの昼間の 1 時間値が 0.06ppm を超えた日数と時間数は、君津俵田測定局で 47 日、262 時間、市原平野測定局で 58 日、358 時間となっており、両測定局とも環境基準を達成していない。

過去 5 年間は両測定局とも環境基準を達成していない。

[浮遊粒子状物質]

平成 26 年度の浮遊粒子状物質濃度は、両測定局とも環境基準の短期的評価を達成している。また、日平均値の 2% 除外値は、両測定局とも 0.042mg/m³ となっており、環境基準の長期的評価を達成している。

短期的評価は、君津俵田測定局で平成 25 年度を除き環境基準を達成している。市原平野測定局は平成 22～25 年度は環境基準を達成していなかったが、平成 26 年度は達成している。長期的評価では、過去 5 年間は両測定局とも環境基準を達成している。

表 3-1-2.2(1) 大気質の状況 (二酸化硫黄)

測定局	用途地域	短期的評価												長期的評価																	
		1時間値が0.10ppmを超えた時間数(時間)					日平均値が0.04ppmを超えた日数(日)					環境基準との比較		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度									
		22	23	24	25	26	22	23	24	25	26	22	23	24	25	26	日平均値の2%除外値(ppm)	2日連続の有無※	環境基準との比較	日平均値の2%除外値(ppm)	2日連続の有無※	環境基準との比較	日平均値の2%除外値(ppm)	2日連続の有無※	環境基準との比較	日平均値の2%除外値(ppm)	2日連続の有無※	環境基準との比較			
君津俵田	木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○	○	○	○	0.003	無	○	0.003	無	○	0.002	無	○	0.003	無	○	0.002	無	○
市原平野	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○	○	○	○	0.004	無	○	0.004	無	○	0.005	無	○	0.005	無	○	0.004	無	○

注1) 短期的評価による環境基準との比較: ○は短期的評価による環境基準達成局(1時間値が0.100ppm以下で、かつ、日平均値が0.040ppm以下である測定局) ×は短期的評価による環境基準未達成局

2) 長期的評価「2日連続の有無※」: 日平均値が0.040ppmを超えた日が2日以上連続したことの有無

3) 長期的評価による環境基準との比較: ○は長期的評価による環境基準達成局(日平均値の2%除外値が0.040ppm以下で、かつ、日平均値が0.040ppmを超えた日が2日以上連続していない測定局) ×は長期的評価による環境基準未達成局

出典:「平成26年度大気環境常時測定結果」(平成27年8月 千葉県環境生活部大気保全課)

表3-1-2.2(2) 大気質の状況 (二酸化窒素)

測定局	用途地域	平成22年度				平成23年度				平成24年度				平成25年度				平成26年度			
		1日平均値の98%値 (ppm)	環境基準との比較	環境基準との比較	環境基準との比較	1日平均値の98%値 (ppm)	環境基準との比較	環境基準との比較	環境基準との比較	1日平均値の98%値 (ppm)	環境基準との比較	環境基準との比較	環境基準との比較	1日平均値の98%値 (ppm)	環境基準との比較	環境基準との比較	環境基準との比較	1日平均値の98%値 (ppm)	環境基準との比較	環境基準との比較	環境基準との比較
君津俵田	未	0.019	○	○	0.017	○	○	○	0.021	○	○	○	0.015	○	○	○	0.017	○	○	○	
市原平野	その他	0.016	○	○	0.017	○	○	○	0.019	○	○	○	0.014	○	○	○	0.014	○	○	○	

注1) 環境基準との比較：○は環境基準達成局（1日平均値の年間98%値が0.080ppm以下の測定局）
 ×は環境基準未達成局
 2) 県環境目標値との比較：○は県環境目標値達成局（1日平均値の年間98%値が0.040ppm以下の測定局）
 ×は県環境目標値未達成局
 出典：「平成26年度大気環境常時測定結果」（平成27年8月 千葉県環境生活部大気保全課）

表3-1-2.2(3) 大気質の状況 (光化学オキシダント)

測定局	用途地域	平成22年度				平成23年度				平成24年度				平成25年度				平成26年度			
		1時間値が0.06ppmを超えた日数	1時間値が0.06ppmを超えた時間数	時間達成率(%)	環境基準との比較	1時間値が0.06ppmを超えた日数	1時間値が0.06ppmを超えた時間数	時間達成率(%)	環境基準との比較	1時間値が0.06ppmを超えた日数	1時間値が0.06ppmを超えた時間数	時間達成率(%)	環境基準との比較	1時間値が0.06ppmを超えた日数	1時間値が0.06ppmを超えた時間数	時間達成率(%)	環境基準との比較	1時間値が0.06ppmを超えた日数	1時間値が0.06ppmを超えた時間数	時間達成率(%)	環境基準との比較
君津俵田	未	16	47	×	99.1	27	124	×	97.7	9	21	×	99.6	61	299	×	94.5	47	262	×	95.2
市原平野	その他	65	381	×	93.0	54	293	×	94.6	48	228	×	95.8	64	307	×	94.4	58	358	×	93.4

注1) 環境基準との比較：○は環境基準達成局（1時間値が0.06ppm以下の測定局） ×は環境基準未達成局
 2) 本表の環境基準との比較は年間の昼間（5時～20時）について測定時間が3,750時間以上の測定局で評価されている。
 3) 時間達成率 = (昼間の環境基準達成時間 / 昼間の測定時間) × 100 (%)
 出典：「平成26年度大気環境常時測定結果」（平成27年8月 千葉県環境生活部大気保全課）

表3-1-2.2(4) 大気質の状況 (浮遊粒子状物質)

測定局	用途地域	短期的評価												長期的評価													
		1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数(時間)						日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数(日)						環境基準との比較		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度			
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	○	×	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2		
君津俵田	未	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市原平野	その他	4	6	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

注1) 短期的評価による環境基準との比較：○は短期的評価による環境基準達成局（1時間値が0.200mg/m³以下で、かつ、日平均値が0.100 mg/m³以下である測定局） ×は短期的評価による環境基準未達成局
 2) 長期的評価「2日連続の有無※」：日平均値が0.100 mg/m³を超えた日が2日以上連続したことの有無
 3) 長期的評価による環境基準との比較：○は長期的評価による環境基準達成局（日平均値の2%除外値が0.100mg/m³以下で、かつ、日平均値が0.100 mg/m³を超えた日が2日以上連続していない測定局）
 ×は長期的評価による環境基準未達成局
 出典：「平成26年度大気環境常時測定結果」（平成27年8月 千葉県環境生活部大気保全課）

ウ. 大気質の経年変化

平成 22～26 年度における年平均値等の経年変化は、表 3-1-2.3 に示すとおりである。

二酸化硫黄は、君津俵田測定局では 0.001ppm、市原平野測定局では 0.002ppm で横ばいが続いている。

二酸化窒素は、君津俵田測定局では 0.006～0.007 ppm で横ばいが続いていたが、平成 25 年度以降は 0.005 ppm と若干減少している。市原平野測定局は横ばいである。

光化学オキシダントの昼間の 1 時間値が 0.12ppm 以上の日数は、両測定局とも平成 24 年度までは 0 日が続いていたが、平成 25 年度以降は君津俵田測定局では 1～2 日、市原平野測定局では 1 日となっている。

浮遊粒子状物質は、君津俵田測定局では 0.015～0.017 mg/m³ でほぼ横ばい、市原平野測定局では増減を繰り返しながらも減少傾向にある。

表 3-1-2.3 大気質の経年変化（年平均値等）

項 目	種 別	測定局	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
二酸化硫黄	年平均値 (ppm)	君津俵田	0.001	0.001	0.000	0.001	0.001
		市原平野	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002
二酸化窒素	年平均値 (ppm)	君津俵田	0.007	0.006	0.007	0.005	0.005
		市原平野	0.005	0.005	0.005	0.005	0.004
光化学オキシダ ント	超過日数 ⁽¹⁾ (日)	君津俵田	0	0	0	2	1
		市原平野	0	0	0	1	1
浮遊粒子状物質	年平均値 (mg/m ³)	君津俵田	0.017	0.016	0.015	0.016	0.015
		市原平野	0.019	0.018	0.016	0.018	0.014

注) 昼間の 1 時間値が 0.12ppm 以上の日数

出典: 「平成 26 年度大気環境常時測定結果」(平成 27 年 8 月 千葉県環境生活部大気保全課)

(2) 「H13 生活環境影響調査書」における調査結果

「H13 生活環境影響調査書」によると、事業実施区域の北方に隣接した石塚地点及び南方約 2.0 km の蔵玉地点（位置は図 3-1-1. 3 参照）において大気質調査を行っており、その結果は表 3-1-2. 4 に示すとおりである。

二酸化窒素の 1 時間値の最高値は、冬季の 0.056ppm、日平均値の最高値は冬季の 0.022 ppm であり、環境基準を下回る値となっている。

浮遊粒子状物質は、2 地点とも、各季節で環境基準を下回る値となっている。

粉じんは、夏季が 0.016 mg/m³ で、冬季が 0.023 mg/m³ と冬季が 0.007 mg/m³ 高くなっている。

表 3-1-2. 4 事業実施区域周辺の大気質の状況

【二酸化窒素】

調査地点	項目	期間	有効測定日数 (日)	期間平均値 (ppm)	1 時間値の最高値		日平均値の最高値	
					濃度 (ppm)	出現日時	濃度 (ppm)	出現日
蔵玉		夏季	7	0.003	0.010	8/21 14 時 8/22 20 時	0.005	8/22
		冬季	7	0.014	0.056	12/8 14 時	0.022	12/5 12/8

【浮遊粒子状物質】

調査地点	項目	期間	有効測定日数 (日)	期間平均値 (mg/m ³)	1 時間値の最高値		日平均値の最高値	
					濃度 (mg/m ³)	出現日時	濃度 (mg/m ³)	出現日
石塚		夏季	7	0.022	0.085	8/22 11 時	0.057	8/22
		冬季	7	0.026	0.134	12/8 14 時	0.052	12/8
蔵玉		夏季	7	0.026	0.119	8/21 17 時	0.052	8/22
		冬季	7	0.026	0.129	12/8 14 時	0.055	12/8

【粉じん】

調査地点	項目	期間	有効測定日数 (日)	期間平均値 (mg/m ³)	最高値		最低値	
					濃度 (mg/m ³)	出現日	濃度 (mg/m ³)	出現日
石塚		夏季	7	0.016	0.042	8/22	0.006	8/24
		冬季	7	0.023	0.043	12/8	0.013	12/6

注) 調査年月日 夏季：平成 10 年 8 月 21 日～27 日
冬季：平成 10 年 12 月 4 日～10 日

出典：「君津環境整備センター建設事業 生活環境影響調査書」（平成 13 年 12 月 新井総合施設株式会社）

(3) 「H21 環境影響評価書」における調査結果

「君津環境整備センター増設事業に係る環境影響評価書」(平成 21 年 5 月 新井総合施設株式会社) (以下、「H21 環境影響評価書」という。) によると、林道戸面蔵玉線(蔵玉集落)(図 3-1-1.3 参照)で実施した大気質調査結果は、表 3-1-2.5 (1)、(2)に示すとおりである。

二酸化窒素の日平均値の最高値は冬季調査における 0.016ppm であり、環境基準(1 時間値の 1 日平均値が 0.04 から 0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下であること。)及び県環境目標値(日平均値の年間 98% 値が 0.04ppm 以下)を下回っている。

また、浮遊粒子状物質は、1 時間値の最高値は春季調査における 0.090mg/m³、日平均値の最高値は冬季調査における 0.036 mg/m³であり、いずれも環境基準(1 時間値の 1 日平均値が 0.10 mg/m³以下であり、かつ 1 時間値が 0.20 mg/m³以下であること。)を下回っている。

表 3-1-2.5 (1) 大気質測定結果(二酸化窒素)

地点名	季節	期間 平均値	1 時間値 の最高値	日平均値 の最高値	日平均値が 0.04ppm 以上 0.06ppm 以下 の日数とその 割合		日平均値が 0.06ppm を 超えた日数と その割合	
					ppm	ppm	ppm	日
林道戸面 蔵玉線 (蔵玉集落)	夏	0.003	0.017	0.004	0	0.0	0	0.0
	秋	0.008	0.031	0.014	0	0.0	0	0.0
	冬	0.009	0.048	0.016	0	0.0	0	0.0
	春	0.005	0.038	0.014	0	0.0	0	0.0
	年	0.006	0.048	0.016	0	0.0	0	0.0

出典：「君津環境整備センター増設事業に係る環境影響評価書」
(平成 21 年 5 月 新井総合施設株式会社)

表 3-1-2.5 (2) 大気質測定結果(浮遊粒子状物質)

地点名	季節	期間 平均値	1 時間値 の最高値	日平均値 の最高値	1 時間値が 0.20mg/m ³ を 超えた時間数 とその割合		日平均値が 0.10mg/m ³ を 超えた日数と その割合	
					mg/m ³	mg/m ³	mg/m ³	時間
林道戸面 蔵玉線 (蔵玉集落)	夏	0.016	0.071	0.027	0	0.0	0	0.0
	秋	0.012	0.034	0.016	0	0.0	0	0.0
	冬	0.023	0.067	0.036	0	0.0	0	0.0
	春	0.016	0.090	0.031	0	0.0	0	0.0
	年	0.017	0.090	0.036	0	0.0	0	0.0

出典：「君津環境整備センター増設事業に係る環境影響評価書」
(平成 21 年 5 月 新井総合施設株式会社)

(4) 君津環境整備センターにおけるモニタリング調査結果

君津環境整備センターでは、平成16年4月の開設以来、図3-1-1.3に示した既設埋立地の敷地境界及び南方約2.0kmの蔵玉において大気質のモニタリングを行っており、年報としてまとめられている。最近5年間の測定結果は、表3-1-2.6に示すとおりである。

二酸化窒素の1日の平均値は0.006~0.023ppmであり、2地点とも環境基準を下回る状況にある。

浮遊粒子状物質の1時間値の最高値は、0.009~0.063mg/m³、1日の平均値は0.004~0.022mg/m³であり、2地点とも環境基準を下回る状況にある。

表3-1-2.6 大気質モニタリング調査結果

調査地点	項目	調査日	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
			(H23.1)	(H24.1)	(H25.1)	(H26.1)	(H27.1)
敷地境界 (既設埋立地)	二酸化窒素 (ppm)	1時間値の最高値	0.010	0.020	0.020	0.028	0.036
		1日の平均値	0.007	0.016	0.012	0.017	0.023
	浮遊粒子状物質 (mg/m ³)	1時間値の最高値	0.017	0.063	0.027	0.033	0.021
		1日の平均値	0.007	0.022	0.009	0.017	0.013
蔵玉	二酸化窒素 (ppm)	1時間値の最高値	0.014	0.019	0.012	0.026	0.023
		1日の平均値	0.009	0.014	0.006	0.013	0.013
	浮遊粒子状物質 (mg/m ³)	1時間値の最高値	0.022	0.015	0.009	0.013	0.025
		1日の平均値	0.005	0.007	0.004	0.006	0.011

注1) 測定時間 7時~18時

2) 環境基準

二酸化窒素：1時間値の1日平均値が0.04から0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。

浮遊粒子状物質：1時間値の1日平均値が0.10mg/m³以下であり、かつ1時間値が0.20mg/m³以下であること。

出典：「君津環境整備センター環境調査 平成26年度年報」（平成27年4月 日鉄住金環境株式会社）

(5) ダイオキシン類の状況

事業実施区域周辺における平成25年度の大気中のダイオキシン類濃度測定結果は、表3-1-2.7に示すとおり、市原平野局において年間平均値0.012pg-TEQ/m³であり、環境基準を達成している。

表3-1-2.7 大気中のダイオキシン類測定結果（平成25年度）

(単位：pg-TEQ/m³)

調査地点	年間平均値	測定回数	環境基準適否	環境基準
市原平野局	0.012	4回(各季節)	適	0.6以下

出典：「平成25年度 ダイオキシン類に係る一般大気環境調査結果について」（平成26年8月 千葉県）

3. 水象の状況

事業実施区域周辺の河川は図3-1-4.1に示すとおりであり、主な河川としては、事業実施区域の西方に二級河川の小櫃川が、東方に二級河川の養老川がそれぞれ南から北に流れており、いずれも東京湾に注いでいる。

事業実施区域の雨水等は小櫃川の支川である二級河川の御腹川に流入している。

4. 水質の状況

(1) 公共用水域水質測定結果

ア. 生活環境項目

(ア) 水質の測定状況

事業実施区域周辺の公共用水域における水質（生活環境項目）の状況は、表3-1-4.1(1)～(5)に示すとおりであり、調査地点の位置は図3-1-4.1（地点1～14）に示すとおりである。

類型指定がされている調査地点での環境基準の達成状況は、以下のとおりである。

水素イオン濃度(pH)は、全地点で達成している。

溶存酸素量(DO)は、亀山ダム貯水池の堤体直上流部と亀山大橋は達成していないが、他の地点は達成している。

生物化学的酸素要求量(BOD)は、河川の全地点で環境基準を達成している。

化学的酸素要求量(COD)は、亀山ダム貯水池の全ての地点で環境基準を達成していない。

浮遊物質量(SS)は、河川では達成しているが、亀山ダム貯水池の新釜生橋、小月橋以外の地点では達成していない。

大腸菌群数は、環境基準を達成しているのは河川では西賀和橋、亀山ダム貯水池では亀山ダム堰堤、亀山大橋のみであり、それ以外の地点では達成していない。

亜鉛については、全ての地点で環境基準を達成している。

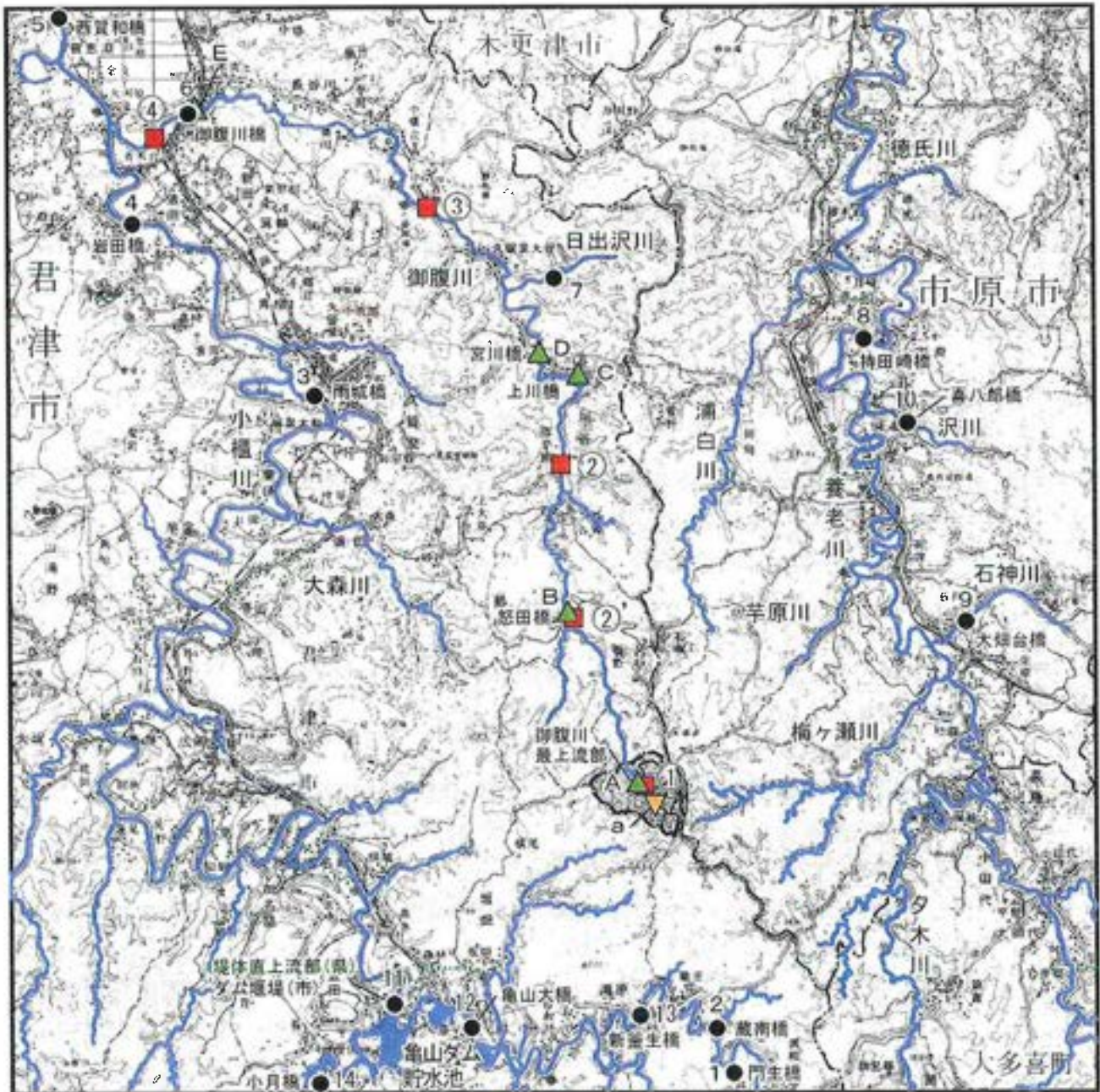


図3-1-4.1 水系及び水質測定地点位置図

凡 例

- 公共用水域水質測定地点（地点1～14）
（表3-1-4.1～3に対応）
- ▽ 水質既往調査地点（H13生活環境影響調査：地点a）
（表3-1-4.4に対応）
- 水質既往調査地点（H21環境影響評価書調査：地点①～③）
（表3-1-4.5、6に対応）
- ▲ 水質既往調査地点（モニタリング調査（年報による）：地点A～E）
（表3-1-4.7に対応）

出典：公共用水域測定結果データベース（千葉県環境生活部ホームページ）
平成26年度版「きみらの環境」（平成27年3月 君津市市民環境部環境保全課）

「平成26年版「まちづくりの環境」（平成27年3月 市原市）
「君津環境整備センター」建設事業「生活環境影響調査書」（平成13年12月 新井総合施設株式会社）
「君津環境整備センター」増設事業に係る「環境影響評価書」（平成21年5月 新井総合施設株式会社）
「君津環境整備センター」環境調査（平成24年度年報）（平成25年3月 日鉄住金環境株式会社）

対象事業実施区域



1 : 75,000

0 1000 2000 3000m

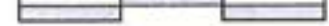


表3-1-4.1(1) 水質の状況(平成25年度:生活環境項目等)

水 域 名		小 櫃 川			
地 点 名		門生橋 (県)	蔵南橋* (君津市)	雨城橋 (君津市)	岩田橋 (県)
地点番号(図3-1-4.1に対応)		1	2	3	4
類 型 (達成期間)		△ (イ)	△ (イ)	△ (イ)	△ (イ)
p H	最小~最大	8.1~8.4	6.9~8.6	6.6~8.0	7.9~8.1
	m/n	0/4	2/12	0/12	0/12
	平均値	8.3	8.0	7.6	8.0
D O (mg/L)	最小~最大	8.1~13	9.1~12.8	8.3~11.9	7.3~12
	m/n	0/4	0/12	0/12	1/12
	平均値	10	10.7	10.0	9.4
B O D (mg/L)	最小~最大	<0.5~0.9	<0.5~1.0	0.5~1.7	0.5~2.2
	m/n	0/4	0/12	0/12	1/12
	平均値(75%値)	0.6 (0.5)	0.7 (0.8)	1.1 (1.2)	1.2 (1.6)
C O D (mg/L)	最小~最大	2.5~4.1	—	—	3.1~7.4
	平均値	3.4	—	—	4.7
S S (mg/L)	最小~最大	<1~1	<1~6	3~110	2~15
	m/n	0/4	0/12	1/12	0/12
	平均値	1	2	16	6
大腸菌群数 (MPN/100ml)	最小~最大	130~3,300	—	4,600	490~33,000
	m/n	1/4	—	1/1	10/12
	平均値	1,100	—	4,600	10,000
全窒素 (mg/L)	最小~最大	0.41~0.67	0.43~0.91	0.57~0.99	0.69~1.2
	平均値	0.54	0.68	0.80	0.85
全リン (mg/L)	最小~最大	0.045~0.083	0.043~0.11	0.067~0.16	0.092~0.18
	平均値	0.066	0.074	0.10	0.12
全亜鉛 (mg/L)	最小~最大	<0.001~0.003	—	0.005	0.001~0.008
	m/n	0/4	—	0/1	0/4
	平均値	0.002	—	0.005	0.003
塩化物イオン (mg/L)	最小~最大	—	—	—	9~16
	平均値	—	—	—	13
電気伝導率 (mS/m)	最小~最大	—	—	—	23~29
	平均値	—	—	—	26

注1) m:環境基準値を超える検体数、n:総検体数

2) (県):県による測定、(市):市による測定

3) <:定量下限値未満

4) 環境基準との比較は、BOD、CODは75%値、他の項目は平均値で行っている。

5) *:蔵南橋は、平成24年度まで小櫃川水系として設定されていた新釜生橋が平成25年度より亀山湖としての測定点に変更され(表3-1-4.1(4)参照)、かわってその上流に蔵南橋が新設された。

出典:「公共用水域水質測定結果データベース」(千葉県環境生活部ホームページ)

「平成26年度版 きみつの環境」(平成27年3月 君津市市民環境部環境保全課)

「平成26年版 いちはらの環境」(平成27年3月 市原市)

なお、県の「公共用水域水質測定結果データベース」では平成26年度のデータが公表されているが、市公表のデータと年次を合わせるため、県についても平成25年度のデータを掲載した。

(上記の注及び出典は、表3-1-4.1(2)~(5)においても同様)

表3-1-4.1(2) 水質の状況 (平成25年度:生活環境項目等)

水 域 名		小 瀬 川		御 腹 川	
地 点 名		岩田橋 (君津市)	西賀和橋 (君津市)	御腹川橋 (県)	御腹川橋 (君津市)
地点番号 (図3-1-4.1に参照)		4	5	6	6
類 型 (達成期間)		A (イ)	B (ロ)	A (ロ)	A (ロ)
pH	最小～最大	6.3～8.0	5.9～7.7	7.7～8.2	6.2～7.8
	m/n	1/12	2/12	0/12	1/12
	平均値	7.5	7.0	7.9	7.3
DO (mg/L)	最小～最大	7.9～11.7	8.3～11.5	6.7～12	7.6～11.8
	m/n	0/12	0/12	2/12	0/12
	平均値	9.6	9.7	9.5	9.9
BOD (mg/L)	最小～最大	<0.5～1.8	<0.5～2.2	0.6～1.6	<0.5～1.6
	m/n	0/12	0/12	0/12	0/12
	平均値(75%値)	1.1 (1.3)	1.0 (1.2)	1.0 (1.1)	1.0 (1.0)
COD (mg/L)	最小～最大	—	—	2.5～6.2	—
	m/n	—	—	—	—
	平均値	—	—	3.9	—
SS (mg/L)	最小～最大	2～100	2～100	2～11	2～60
	m/n	1/12	2/12	0/12	1/12
	平均値	16	16	4	9
大腸菌群数 (MPN/100mL)	最小～最大	—	4,900	1,400～49,000	—
	m/n	—	0/1	12/12	—
	平均値	—	4,900	16,000	—
全窒素 (mg/L)	最小～最大	0.61～1.0	0.62～1.1	0.68～1.0	0.65～1.1
	m/n	0.80	0.90	0.84	0.90
	平均値	0.80	0.90	0.84	0.90
全リン (mg/L)	最小～最大	0.086～0.17	0.077～0.16	0.049～0.10	0.048～0.10
	m/n	—	—	—	—
	平均値	0.11	0.11	0.072	0.070
全亜鉛 (mg/L)	最小～最大	—	0.004	0.001～0.005	—
	m/n	—	0/1	0/6	—
	平均値	—	0.004	0.003	—
塩化物イオン (mg/L)	最小～最大	—	—	12～16	—
	m/n	—	—	—	—
	平均値	—	—	13	—
電気伝導率 (mS/m)	最小～最大	—	—	29～45	—
	m/n	—	—	—	—
	平均値	—	—	37	—

表3-1-4.1(3) 水質の状況 (平成25年度:生活環境項目等)

水 域 名		御 腹 川	養 老 川	石 神 川	沢 川
地 点 名		日出沢川 (君津市)	持田橋 (市原市)	大畑台橋 (市原市)	喜八郎橋 (市原市)
地点番号 (図3-1-4.1に参照)		7	8	9	10
類 型 (達成期間)		—	A (イ)	—	—
pH	最小～最大	—	7.9～8.4	7.8～8.0	7.8～8.0
	m/n	—	0/12	—	—
	平均値	—	8.2	7.9	7.9
DO (mg/L)	最小～最大	—	9.0～12.8	3.6～9.7	7.3～10.1
	m/n	—	0/12	—	—
	平均値	—	10.3	7.2	8.6
BOD (mg/L)	最小～最大	—	<0.5～2.0	0.8～4.7	0.8～3.3
	m/n	—	0/12	—	—
	平均値(75%値)	—	1.0 (1.2)	2.5 (3.5)	1.7 (2.2)
COD (mg/L)	最小～最大	—	2.8～6.3	3.6～12	1.2～4.3
	m/n	—	—	—	—
	平均値	—	4.0	6.6	2.8
SS (mg/L)	最小～最大	—	<1～5	<1～6	1～4
	m/n	—	0/12	—	—
	平均値	—	2	3	2
大腸菌群数 (MPN/100mL)	最小～最大	3,300	240～49,000	460～49,000	240～70,000
	m/n	—	9/12	—	—
	平均値	3,300	11,000	13,000	17,000
全窒素 (mg/L)	最小～最大	—	0.95～1.6	1.8～5.8	1.0～2.3
	m/n	—	1.3	3.9	1.5
	平均値	—	1.3	3.9	1.5
全リン (mg/L)	最小～最大	—	0.094～0.22	0.50～3.0	0.15～0.44
	m/n	—	—	—	—
	平均値	—	0.17	1.1	0.24
全亜鉛 (mg/L)	最小～最大	0.003	0.001～0.041	—	—
	m/n	—	0/12	—	—
	平均値	0.003	0.006	—	—
塩化物イオン (mg/L)	最小～最大	—	8～16	—	—
	m/n	—	—	—	—
	平均値	—	14	—	—
電気伝導率 (mS/m)	最小～最大	—	18～38	31～54	28～31
	m/n	—	—	—	—
	平均値	—	32	44	29

表 3-1-4.1(4) 水質の状況 (平成 25 年度 : 生活環境項目等)

水 域 名		龜山ダム貯水池			
地 点 名		堤体直上流部 (県)	龜山ダム堰堤 (君津市)	龜山大橋 (県)	龜山大橋 (君津市)
地点番号 (図 3-1-4.1 に対応)		11	11	12	12
類 型 (達成期間)		△ (ハ)	△ (ハ)	△ (ハ)	△ (ハ)
pH	最小～最大	7.3～8.9	7.0～8.9	7.2～9.0	—
	m/n	3/24	2/12	4/24	—
	平均値	7.8	8.0	7.9	—
DO (mg/L)	最小～最大	0.7～1.3	6.9～12.7	<0.5～12	—
	m/n	12/24	2/12	12/24	—
	平均値	6.9	9.5	7.2	—
COD (mg/L)	最小～最大	4.8～9.8	5.1～8.9	4.8～10	—
	m/n	24/24	12/12	24/24	—
	平均値(75%値)	6.4 (6.6)	6.6 (7.4)	6.9 (7.4)	—
SS (mg/L)	最小～最大	1～34	1～49	3～37	—
	m/n	10/24	5/12	17/24	—
	平均値	7	10	9	—
大腸菌群数 (MPN/100ml)	最小～最大	33～24,000	330	49～1,700	330
	m/n	4/24	0/1	2/8	0/1
	平均値	1,600	330	540	330
全窒素 (mg/L)	最小～最大	0.38～1.2	0.35～0.80	0.58～1.3	—
	平均値	0.67	0.62	0.81	—
全リン (mg/L)	最小～最大	0.024～0.11	0.025～0.088	0.028～0.26	—
	平均値	0.046	0.044	0.075	—
全亜鉛 (mg/L)	最小～最大	0.001～0.006	0.006	0.002～0.007	0.007
	m/n	0/6	0/1	0/4	0/1
	平均値	0.003	0.006	0.004	0.007
塩化物イオン (mg/L)	最小～最大	12～32	—	10～27	—
	平均値	18	—	17	—
電気伝導率 (mS/m)	最小～最大	16～35	—	13～35	—
	平均値	24	—	24	—

表 3-1-4.1(5) 水質の状況 (平成 25 年度 : 生活環境項目等)

水 域 名		龜山ダム貯水池		
地 点 名		新釜生橋* (君津市)	小月橋 (県)	小月橋 (君津市)
地点番号 (図 3-1-4.1 に対応)		13	14	14
類 型 (達成期間)		△ (ハ)	△ (ハ)	△ (ハ)
pH	最小～最大	6.7～8.5	7.3～9.1	7.1～9.2
	m/n	0/12	2/24	4/12
	平均値	7.9	7.8	8.1
DO (mg/L)	最小～最大	8.8～12.7	0.8～12	6.7～13.4
	m/n	0/12	10/24	2/12
	平均値	10.6	7.3	9.6
COD (mg/L)	最小～最大	2.4～6.3	5.1～11	5.5～10.0
	m/n	9/12	24/24	12/12
	平均値(75%値)	3.9 (3.9)	6.6 (7.0)	6.7 (7.0)
SS (mg/L)	最小～最大	<1～6	2～14	2～34
	m/n	1/12	7/24	4/12
	平均値	2	5	7
大腸菌群数 (MPN/100mL)	最小～最大	—	49～790	—
	m/n	—	0/8	—
	平均値	—	300	—
全窒素 (mg/L)	最小～最大	0.45～0.92	0.45～0.86	0.36～0.85
	平均値	0.66	0.64	0.62
全リン (mg/L)	最小～最大	0.044～0.11	0.025～0.83	0.028～0.089
	平均値	0.070	0.042	0.047
全亜鉛 (mg/L)	最小～最大	—	0.003～0.005	—
	m/n	—	0/4	—
	平均値	—	0.004	—
塩化物イオン (mg/L)	最小～最大	—	10～33	—
	平均値	—	18	—
電気伝導率 (mS/m)	最小～最大	—	14～34	—
	平均値	—	23	—

(イ) 水質の経年変化

事業実施区域の雨水が流入する御腹川（御腹川橋：地点6）の平成21～25年度における年平均値の経年変化は、表3-1-4.2に示すとおりである。

生物化学的酸素要求量(BOD)は1.0～1.3mg/Lの範囲内で、横ばいである。

化学的酸素要求量(COD)は3.7～4.1mg/Lの範囲内で、横ばい傾向にある。

浮遊物質量(SS)は4～6mg/Lの範囲内で、年度により変動がみられるが、若干減少傾向にある。

全窒素は0.84～0.94mg/Lの範囲内で横ばいであるが、若干減少傾向にある。

全リンは0.070～0.077mg/Lの範囲内で、横ばい傾向にある。

塩化物イオンは13～36mg/Lの範囲内で、平成23年度まではほぼ横ばいであったが、平成24年度に上昇し、翌25年度には13mg/Lと大きく減少している。

表3-1-4.2 御腹川における水質の経年変化（年平均値）

項目	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
BOD (mg/L)	1.3	1.3	1.2	1.0	1.0
COD (mg/L)	4.1	3.7	3.7	3.8	3.9
SS (mg/L)	5	6	5	4	4
全窒素 (mg/L)	0.92	0.94	0.92	0.91	0.84
全リン (mg/L)	0.070	0.077	0.076	0.072	0.072
塩化物イオン (mg/L)	19	24	22	36	13

注) 調査地点：御腹川橋（地点6：県測定）（位置は図3-1-4.1参照）

出典：「公共用水域水質測定結果データベース」（千葉県環境生活部ホームページ）

イ. 健康項目

健康項目の測定結果は、表3-1-4.3(1)～(3)に示すとおりである。

御腹川支流口出沢川（地点7）のほう素が環境基準を達成していないが、他の地点、項目についてはすべて環境基準を達成している。

表3-1-4.3(1) 水質の状況（平成25年度：健康項目）

(単位：mg/L)

水 域 名	小 横 川			御腹川
	雨城橋 (君津市)	岩田橋 (県)	西賀和橋 (君津市)	御腹川橋 (県)
地点番号(図3-1-4.1に対応)	3	4	5	6
カドミウム	<0.003	<0.0003	<0.003	<0.0003
全シアン	不検出	<0.1	不検出	<0.1
鉛	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
六価クロム	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
砒素	0.001	0.001	0.001	0.001
総水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀	不検出	—	不検出	—
PCB	不検出	<0.0005	不検出	<0.0005
ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1,2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン	<0.002	<0.01	<0.002	<0.01
シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
1,1,1-トリクロロエタン	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
トリクロロエチレン	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
テトラクロロエチレン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
チウラム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
セレン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	0.5	0.55	0.6	0.53
ふっ素	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08
ほう素	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
1,4-ジオキサン	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005

注1) (県)：県による測定、(市)：市による測定

2) <：定量下限値未満

3) —は未測定を示す

出典：「公共用水域水質測定結果データベース」(千葉県環境生活部ホームページ)

「平成26年度版 きみつの環境」(平成27年3月 君津市市民環境部環境保全課)

なお、県の「公共用水域水質測定結果データベース」では平成26年度のデータが公表されているが、市公表のデータと年次を合わせるため、県についても平成25年度のデータを掲載した。

表3-1-4.3(2) 水質の状況（平成25年度：健康項目）
 (単位：mg/L)

水 域 名	御腹川支流	養老川	石神川
地 点 名	日出沢川 (君津市)	持田崎橋 (市原市)	大畑台橋 (市原市)
地点番号 (図3-1-4.1に対応)	7	8	9
カドミウム	<0.0003	<0.0005	<0.0005
全シアン	不検出	<0.1	<0.1
鉛	<0.001	<0.001	<0.001
六価クロム	<0.005	<0.005	<0.005
砒素	0.002	0.001	0.002
総水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀	不検出	—	—
P C B	不検出	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1,2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002
シス-1,2 ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004
1,1,1 トリクロロエタン	<0.1	<0.001	<0.001
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006
トリクロロエチレン	<0.003	<0.003	<0.003
テトラクロロエチレン	<0.001	<0.001	<0.001
1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002
チウラム	<0.0006	<0.0006	<0.0006
シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	<0.002	<0.002	<0.002
ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001
セレン	<0.001	<0.001	<0.001
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	4.8	0.92	2.5
ふっ素	<0.08	0.10	<0.08
ほう素	3.4	<0.1	<0.1
1,4-ジオキサン	<0.005	<0.005	<0.005

注1) (市)：市による測定

2) <：定量下限値未満

3) は環境基準（ほう素：1 mg/L以下）を未達成

4) —は未測定を示す

出典：「平成26年度版 きみつの環境」（平成27年3月 君津市市民環境部環境保全課）

「平成26年版 いちはらの環境」（平成27年3月 市原市）

表3-1 4.3(3) 水質の状況(平成25年度:健康項目)

(単位:mg/L)

水 域 名	亀山ダム貯水池					
	地点名	堤体直上流部 (県)	ダム堰堤 (君津市)	亀山大橋 (県)	亀山大橋 (君津市)	小月橋 (県)
地点番号(図3-1 4.1に対応)		11	11	12	12	14
カドミウム		<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
全シアン		<0.1	不検出	<0.1	不検出	<0.1
鉛		<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001
六価クロム		<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
砒素		<0.001	0.001	<0.001	0.001	<0.001
総水銀		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀		—	不検出	—	不検出	—
P C B		—	不検出	—	不検出	—
ジクロロメタン		<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
四塩化炭素		<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1,2-ジクロロエタン		<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン		<0.01	<0.002	<0.01	<0.002	<0.01
シス-1,2 ジクロロエチレン		<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
1,1,1-トリクロロエタン		<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
1,1,2-トリクロロエタン		<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
トリクロロエチレン		<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
テトラクロロエチレン		<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
1,3-ジクロロプロペン		<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
チウラム		<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
シマジン		<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ		<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
ベンゼン		<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
セレン		<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素		0.27	<0.1	0.24	0.1	0.26
ふっ素		<0.08	0.09	<0.08	0.09	<0.08
ほう素		<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
1,4 ジオキサン		<0.005	<0.005	—	<0.005	—

注1) (県): 県による測定、(市): 市による測定

2) <: 定量下限値未満

3) —は未測定を示す

出典: 「公共用水域水質測定結果データベース」(千葉県環境生活部ホームページ)

「平成26年度版 きみつの環境」(平成27年3月 君津市市民環境部環境保全課)

(2) 「H13 生活環境影響調査書」における調査結果

「H13 生活環境影響調査書」によると、平成10年7月～12月に事業実施区域内の御腹川(図3-1-4.1の地点a)において既設埋立地建設前における水質調査を行っており、その結果は表3-1-4.4(1)～(3)に示すとおりである。

生活環境項目は大腸菌群数以外の項目は環境基準を達成しており、健康項目についてはすべての項目で環境基準を達成している。また、重金属等はいずれの項目も定量下限値未満となっている。

表3-1-4.4(1) 事業実施区域付近の水質の状況(生活環境項目)

項 H	採 水 日 (平成10年)						環境基準 (A類型)
	7月29日	8月20日	9月17日	10月14日	11月9日	12月2日	
pH	7.4	7.7	7.4	7.4	7.4	7.4	6.5～8.5
BOD (mg/L)	0.5 未満	0.5 未満	0.5	0.5	0.5	2.0	2 以下
DO (mg/L)	8.1	9.5	8.3	7.9	9.3	10.7	7.5 以上
SS (mg/L)	10	2	22	7	1 未満	9	25 以下
大腸菌群数 (MPN/100ml)	3.5×10 ¹	1.4×10 ³	5.4×10 ²	1.3×10 ³	1.4×10 ³	1.3×10 ³	1,000 以下
全窒素 (mg/L)	0.44	0.41	0.70	0.38	0.40	0.33	—
全磷 (mg/L)	0.043	0.051	0.039	0.054	0.035	0.028	—

注1) 採水地点は事業実施区域内の御腹川(図3-1-4.1の地点a)

2) 〇は環境基準を未達成

出典:「君津環境整備センター建設事業 生活環境影響調査書」(平成13年12月 新井総合施設株式会社)

表3-1-4.4(2) 事業実施区域付近の水質の状況(健康項目)

(単位: mg/L)

項 目	調査結果	環境基準 ¹⁾	項 目	調査結果	環境基準 ¹⁾
カドミウム	0.001 未満	0.01 (0.003)	シス1,2-ジクロロエチレン	0.004 未満	0.04
全シアン	不検出	検出されないこと	1,1,1-トリクロロエタン	0.1 未満	1
鉛	0.001 未満	0.01	1,1,2-トリクロロエタン	0.0006 未満	0.006
六価クロム	0.005 未満	0.05	トリクロロエチレン	0.003 未満	0.03 (0.01)
砒素	0.001	0.01	テトラクロロエチレン	0.001 未満	0.01
総水銀	0.0005 未満	0.0005	1,3-ジクロロプロペン	0.0002 未満	0.002
アルキル水銀	不検出	検出されないこと	チウラム	0.0006 未満	0.006
PCB	不検出	検出されないこと	シマジン	0.0003 未満	0.003
ジクロロメタン	0.002 未満	0.02	チオベンカルブ	0.002 未満	0.02
四塩化炭素	0.0002 未満	0.002	ベンゼン	0.001 未満	0.01
1,2-ジクロロエタン	0.0004 未満	0.004	セレン	0.001 未満	0.01
1,1-ジクロロエチレン	0.002 未満	0.02 (0.1)	ふっ素	0.1 未満	— (0.8)

注1) 環境基準は当該文献における当時の基準値であり、改正があった項目については現行の基準値を()に示した。

2) 採水地点は事業実施区域内の御腹川(図3-1-4.1の地点a)、採水日は平成10年10月14日

出典:「君津環境整備センター建設事業 生活環境影響調査書」(平成13年12月 新井総合施設株式会社)

表3-1-4.4(3) 事業実施区域付近の水質の状況(重金属等)

(単位: mg/L)

項 目	調査結果	項 目	調査結果
ノルマルヘキサン抽出物質(鉱物油類)	1 未満	亜鉛	0.05 未満
ノルマルヘキサン抽出物質(動物油抽出)	1 未満	溶解性鉄	0.1 未満
フェノール類	0.005 未満	溶解性マンガン	0.1 未満
銅	0.01 未満	全クロム	0.02 未満

注1) 採水地点は事業実施区域内の御腹川(図3-1-4.1の地点a)

2) 採水は表3-1-4.4(1)に示す日に実施。調査結果はその平均値。

出典:「君津環境整備センター建設事業 生活環境影響調査書 補遺編」(平成13年12月 新井総合施設株式会社)

(3) 「H21 環境影響評価書」における調査結果

「H21 環境影響評価書」によると、平成 18 年 5 月～平成 19 年 4 月に御腹川の 5 地点（図 3-1-4.1 の地点①～④）で実施した水質の調査結果は、表 3-1-4.5～6 に示すとおりである。

生活環境項目等は、生物化学的酸素要求量（BOD）が最上流部である地点①で環境基準を超えているが、下流側の他の地点ではすべて環境基準を達成している。浮遊物質量（SS）は、全地点で環境基準を達成している。

有害物質等は、地点①で硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、ふっ素、ほう素が環境基準を超えているが、他の項目はすべて環境基準を達成している。なお、下流側の他の地点では、すべての項目で環境基準を達成している。

「H21 環境影響評価書」では、増設に伴い塩化物イオン、ふっ素・ほう素等の水質を改善することを環境保全措置として実施することになっており、平成 25 年 1 月に第 2 水処理施設が整備された。その結果、表 3-1-4.9(1)に示すように、放流水の塩化物イオン、ふっ素、ほう素の濃度が大きく低下している。

表3-1 4.5 水質調査結果（生活環境項目等）

調査項目	区分	調査地点（図3-1-4.1に対応）					環境基準 （A類型）
		①	②'	②	③	④	
BOD (mg/L)	最小	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	—
	最大	18.0	2.0	0.6	1.0	1.3	
	平均値	5.4	1.0	0.5	0.7	0.9	
	75%値	8.8	0.9	0.5	0.8	1.1	
COD (mg/L)	最小	3.9	1.8	2.3	2.4	2.4	—
	最大	29	4.8	4.7	5.8	10	
	平均値	12.9	3.2	3.3	3.9	4.2	
SS (mg/L)	最小	<1	1	<1	1	2	—
	最大	74	3	5	10	83	
	平均値	10.5	1.8	1.7	4.0	11.3	
T-N (mg/L)	最小	8.5	1.1	0.50	0.97	0.98	—
	最大	60	7.7	4.3	2.3	2.0	
	平均値	27	2.9	1.4	1.3	1.2	
T-P (mg/L)	最小	0.063	0.039	0.040	0.046	0.060	—
	最大	0.26	0.055	0.048	0.088	0.12	
	平均値	0.14	0.047	0.051	0.059	0.080	
塩化物イオン (mg/L)	最小	360	47	18	13	12	—
	最大	2100	70	42	30	19	
	平均値	1043	57	34	21	16	

注1) 調査年月：平成18年5月～平成19年4月、ただし塩化物イオンは平成18年11月から測定

2) 調査回数：調査地点①、②、③、④は年12回、調査地点②'は年4回の測定

3) 環境基準は、御龍川にはA類型が当てはめられている。

4) <：定量下限値未満

5) 平均値は定量下限値未満の値を定量下限値に置き換えて算出

6) は環境基準を未達成

出典：「君津環境整備センター増設事業に係る環境影響評価書」（平成21年5月 新井総合施設株式会社）

表3-1 4.6 水質調査結果（有害物質等）

調査項目	単位	調査地点（図3-1 4.1に対応）					環境基準 ¹⁾
		①	②'	②	③	④	
カドミウム	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 (0.003) ²⁾
全シアン	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	検出されないこと
鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01
六価クロム	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05
砒素	mg/L	0.001	0.001	<0.001	0.001	0.001	0.01
総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005
アルキル水銀	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	検出されないこと
PCB	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	検出されないこと
セレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	26	1.2	2.5	1.3	0.95	10
ふっ素	mg/L	1.3	0.06	0.11	0.11	0.09	0.8
ほう素	mg/L	1.7	0.08	0.12	0.16	0.10	1
銅	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—
亜鉛	mg/L	0.017	0.014	0.001	0.001	0.001	(0.03) ³⁾
鉄	mg/L	0.33	0.39	0.19	2.2	0.67	—
マンガン	mg/L	0.21	0.05	0.05	0.08	0.16	—
クロム	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—
ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.15	0.075	0.067	0.092	0.084	1

注1) 環境基準は当該文庫における当時の基準値であり、改正があった項目については現行の基準値を()に示した。

2) カドミウムは平成23年10月27日より0.003mg/Lに改正された。

3) 亜鉛は小櫃川水系が平成23年12月9日より水生生物項目の環境基準が当てはめられたことによる。

4) 調査年月：平成18年8月～平成19年1月、調査回数：調査地点①、②、③、④は年2回、調査地点②'は年1回

5) <：定量下限値未満、平均値は定量下限値未満の値を定量下限値に置き換えて算出

6) は環境基準を未達成

出典：「君津環境整備センター増設事業に係る環境影響評価書」（平成21年5月 新井総合施設株式会社）

(4) 君津環境整備センターによる下流河川モニタリング調査結果

君津環境整備センターでは、平成16年4月の開設以来、下流河川の調査地点（図3-1-4.1の地点A～E）の水質についてモニタリング調査を実施している。

最近5年間の調査結果は表3-1-4.7に示すとおりであり、水質汚濁に係る環境基準の対象項目は、すべての年度、調査地点において環境基準を満足している。

塩化物イオンについては、君津環境整備センターに近い怒田橋（地点B）では顕著な上昇傾向がみられたが、第Ⅱ期増設事業の実施に伴い平成25年1月に第2水処理施設が整備され、逆浸透膜設備が導入されたことから、平成25年度以降の塩化物イオン濃度は大きく低下している。

表3-1-4.7 下流河川の水質の状況

地点名		御腹川最上流部		怒出橋		上川橋		宮川橋		御腹川橋		環境基準 (A類型)	
地点番号(図3-1-4.1に対応)		A		B		C		D		E			
平成22年度	採取日	—	7/5	1/7	7/5	1/7	7/5	1/7	7/5	1/7	7/5	1/7	—
	流量* m ³ /min	m ³ /min	—	—	1.6	1.6	3.8	5.0	3.8	5.0	13.0	23.2	—
	水素イオン濃度指数	—	7.9	7.7	7.9	7.7	8.1	8.0	8.1	8.0	8.0	7.8	6.5-8.5
	生物化学的酸素要求量	mg/L	0.6	1.0	0.5	<0.5	1.6	<0.5	1.0	<0.5	1.1	1.1	2以下
	化学的酸素要求量	mg/L	5.8	1.5	2.4	1.3	3.0	1.5	3.1	1.5	3.5	1.9	—
	浮遊物質量	mg/L	14	<1	2	4	2	<1	2	<1	4	2	25以下
	溶存酸素量	mg/L	7.9	13	8.3	12	8.0	12	8.0	12	8.4	11	7.5以上
	濁度	度	8.7	0.6	1.6	1.0	2.2	1.1	1.8	0.9	3.2	3.0	—
水温	℃	20.8	1.8	21.8	3.3	22.7	4.8	22.8	4.7	23.8	5.1	—	
塩化物イオン濃度	mg/L	8	7	260	310	67	61	56	61	27	27	—	
平成23年度	採取日	—	7/4	1/5	7/4	1/7	7/4	1/5	7/4	1/5	7/4	1/5	—
	流量* m ³ /min	m ³ /min	—	—	1.1	0.4	3.6	1.8	3.6	1.8	10.0	16.4	—
	水素イオン濃度指数	—	7.8	7.8	7.7	7.6	7.9	7.8	7.9	8.0	7.7	7.8	6.5-8.5
	生物化学的酸素要求量	mg/L	1.1	<0.5	0.6	<0.5	1.1	0.8	1.3	1.2	0.5	1.3	2以下
	化学的酸素要求量	mg/L	4.3	2.3	3.0	2.0	3.5	2.3	3.4	2.5	3.9	3.0	—
	浮遊物質量	mg/L	6	<1	4	<1	3	<1	3	1	4	4	25以下
	溶存酸素量	mg/L	8.1	13	8.5	13	8.8	12	8.1	12	7.6	11	7.5以上
	濁度	度	3.4	0.7	3.1	<0.5	2.4	1.1	2.8	0.9	3.6	4.3	—
水温	℃	23.3	2.7	22.3	2.4	22.2	4.1	22.5	3.8	23.0	4.7	—	
塩化物イオン濃度	mg/L	8	10	420	240	75	56	68	53	24	24	—	
平成24年度	採取日	—	7/9	1/9	7/9	1/9	7/9	1/9	7/9	1/9	7/9	1/9	—
	流量* m ³ /min	m ³ /min	—	—	2.9	1.2	7.5	4.6	7.5	4.6	15.1	18.9	—
	水素イオン濃度指数	—	8.0	7.8	7.8	7.8	8.0	8.0	8.0	8.1	7.8	7.9	6.5 8.5
	生物化学的酸素要求量	mg/L	<0.5	<0.5	0.7	0.8	1.0	0.8	1.0	1.6	1.1	1.3	2以下
	化学的酸素要求量	mg/L	5.0	2.4	3.5	2.2	3.3	2.2	3.4	2.3	4.1	2.6	—
	浮遊物質量	mg/L	12	2	5	1	2	2	2	1	6	5	25以下
	溶存酸素量	mg/L	8.6	12	9.1	13	9.0	12	8.8	12	8.4	12	7.5以上
	濁度	度	6.3	1.1	4.7	1.0	2.4	1.3	2.2	1.0	4.3	4.5	—
水温	℃	19.4	4.7	17.4	5.4	20.3	6.3	20.2	6.1	19.2	7.7	—	
塩化物イオン濃度	mg/L	10	12	560	440	170	120	150	110	57	39	—	
平成25年度	採取日	—	7/2	1/7	7/2	1/7	7/2	1/7	7/2	1/7	7/2	1/7	—
	流量* m ³ /min	m ³ /min	—	—	1.5	1.0	8.2	2.6	8.2	2.6	14.1	18.8	—
	水素イオン濃度指数	—	7.8	7.2	7.7	7.5	8.0	7.7	8.0	7.8	7.8	7.6	6.5-8.5
	生物化学的酸素要求量	mg/L	0.8	<0.5	0.8	<0.5	1.2	1.0	1.5	0.7	1.3	0.7	2以下
	化学的酸素要求量	mg/L	6.9	2.2	2.7	2.9	3.1	2.0	3.0	2.2	2.9	2.4	—
	浮遊物質量	mg/L	16	2	3	12	1	1	2	2	4	4	25以下
	溶存酸素量	mg/L	8.4	14	9.1	13	9.3	13	9.0	13	8.4	12	7.5以上
	濁度	度	9.6	1.9	2.5	6.9	2.1	1.1	1.8	1.1	3.3	3.6	—
水温	℃	20.1	2.0	18.1	2.7	17.6	2.8	18.3	2.5	18.9	4.1	—	
塩化物イオン濃度	mg/L	10	11	75	82	25	22	22	21	16	17	—	
平成26年度	採取日	—	7/9	1/6	7/9	1/6	7/9	1/6	7/9	1/6	7/9	1/6	—
	流量* m ³ /min	m ³ /min	—	—	1.7	0.8	6.5	4.5	6.5	4.5	21.9	18.6	—
	水素イオン濃度指数	—	7.9	7.5	7.7	7.6	7.9	7.9	7.9	8.0	7.7	7.8	6.5-8.5
	生物化学的酸素要求量	mg/L	0.7	0.7	0.7	0.7	1.6	0.8	1.7	1.0	1.7	0.9	2以下
	化学的酸素要求量	mg/L	4.6	3.2	3.0	2.1	3.3	2.5	3.4	2.4	4.0	2.5	—
	浮遊物質量	mg/L	6	3	5	<1	2	<1	2	<1	13	3	25以下
	溶存酸素量	mg/L	8.5	11	8.7	12	8.8	11	8.6	10	8.5	11	7.5以上
	濁度	度	3.1	2.2	4.4	1.3	2.8	2.1	2.7	1.6	7.4	3.7	—
水温	℃	21.5	8.0	20.4	7.4	20.7	6.1	20.8	5.7	20.8	7.6	—	
塩化物イオン濃度	mg/L	11	12	69	92	20	23	20	21	17	15	—	

注1) 上川橋及び宮川橋調査地点は、流量測定が困難なため、上川橋上流部で実施

2) 御腹川最上流部は、放流水の影響を受けていない支流での測定値

3) 御腹川(全域)は、生活環境保全に関する環境基準の水質類型Aに指定されている。

4) <: 定量下限値未満

出典:「川津環境整備センター環境調査年報」(平成22~23年度:株式会社日鉄ウォーター、平成24~26年度:日鉄住金環境株式会社)

(5) 君津環境整備センターによる放流水モニタリング調査結果

君津環境整備センターでは、平成 19 年度から河川放流口（調整池下流）でモニタリング調査を実施しており、最近 5 年間の調査結果は表 3-1-4.8 (1), (2) に示すとおりである。また、併せて開設時からモニタリングを行っている水処理施設での放流水の排水濃度を表 3-1-4.9 (1), (2) に示す。

水質汚濁に係る環境基準の対象項目は、放流口（調整池下流）地点でほう素が平成 23 年度までは環境基準を超過しているが、平成 24 年度以降は環境基準を達成している。その他の項目は各年度ともすべての項目で環境基準を達成している。

平成 25 年 1 月に第 2 水処理施設が整備され、逆浸透膜設備、ふっ素・ほう素のキレート吸着設備が導入されたことから、塩化物イオン、ふっ素、ほう素の濃度が大きく低下している。

表3 1-4.8(1) 河川放流口(調整池下流)の水質の状況(年度別平均値)

項目	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	環境基準	整合を図るべき基準	
採取状況	採取回数	・水素イオン濃度～塩化物イオン:12(ただし、22年度は11)/・その他項目:1(ただし、26年度は2)					—	—	
	水温	21.2(16.1~28.4)	20.0(11.5~27.1)	21.8(12.7~29.5)	21.3(8.1~32.6)	21.9(11.9~31.1)	—	—	
有害物質以外	水素イオン濃度	—	7.4(7.1~7.6)	7.5(7.1~7.7)	7.5(7.1~7.7)	7.4(6.9~7.8)	7.5(7.2~7.9)	6.5~8.5	6.5~8.5
	生物学的酸素要求量	mg/L	0.7<(0.5~1.1)	0.5<(0.5~0.7)	0.8<(0.5~1.5)	1.0<(0.5~1.9)	1.0<(0.5~1.7)	2.0	2.0
	化学的酸素要求量	mg/L	5.8(2.4~8.9)	4.5(2.8~8.0)	5.1(1.8~8.5)	2.1(0.9~2.7)	3.1(1.8~5.3)	—	8
	浮遊物質量	mg/L	1.1<(1~2)	1.5<(1~3)	3.5<(1~11)	9.0<(1~24)	6.9<(1~25)	25	25
	窒素含有量	mg/L	3.8(2.0~5.4)	2.6(1.5~4.9)	3.7(0.9~11)	1.2(0.6~1.8)	1.0(0.4~1.7)	—	5~10
	りん含有量	mg/L	0.08(0.05~0.12)	0.08<(0.01~0.17)	0.07(0.03~0.19)	0.06<(0.01~0.12)	0.07(0.04~0.15)	—	1.6
	塩化物イオン	mg/L	4827(2700~6300)	5358(3900~6900)	5075(460~7300)	497(160~770)	468(18~660)	—	500~700
有害物質	カドミウム及びその化合物	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.01~0.003 ²⁾	0.01
	シアン化合物	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	—
	有機りん化合物	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	—	—
	鉛及びその化合物	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01	0.01
	六価クロム化合物	mg/L	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	0.05	0.05
	砒素及びその化合物	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01	0.01
	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005	0.0005
	アルキル水銀化合物	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	—
	PCB	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	—
	トリクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.03~0.01 ³⁾	—
	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01	—
	ジクロロメタン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.02	—
	四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002	—
	1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004	—
	1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.1	—
	シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.04	—
	1,1,1-トリクロロメタン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	1	—
	1,1,2-トリクロロメタン	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006	—
	1,3-ジクロロプロパン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002	—
	チウラム	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006	—
	シマジン	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003	—
	チオベンカルブ	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02	—
	ベンゼン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01	—
	ナレン及びその化合物	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.01	0.01
	ほう素及びその化合物	mg/L	3.6	5.3	0.18	0.13	0.06	1	1
	ふっ素及びその化合物	mg/L	<0.1	0.1	0.1	0.2	<0.1	0.8	0.8
アゾ、アミカ化合物、亜硝酸化合物及び硝基化合物	mg/L	2.3	0.21	0.19	0.30	0.39 (0.38~0.39)	10	10	
ダイオキシン類	pg-TEQ/L	—	—	—	0.015	0.110(0.089~0.13)	1	1	
有害物質以外	鉱油類含有量	mg/L	<1	<1	<1	<1	<1	—	—
	動植物油脂類含有量	mg/L	<1	<1	<1	<1	<1	—	—
	フェノール類含有量	mg/L	0.010	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—	—
	銅含有量	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	—	0.1
	亜鉛含有量	mg/L	0.62	0.18	<0.05	0.06	<0.05	—	0.1
	溶解性鉄含有量	mg/L	<0.05	0.12	<0.05	0.07	0.13(0.12~0.13)	—	0.5
	溶解性マンガン含有量	mg/L	0.79	1.5	0.17	0.21	0.14(0.11~0.17)	—	0.5
	クロム含有量	mg/L	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	—	0.05
大腸菌群数	個/cm ²	0	0	0	0	0	—	—	

注)1)公共用水の水質汚濁に関する環境基準(平9.3.13 薬告10、最終改正:平26.11.17 薬告126)ただしA類型の環境基準
 2)カドミウムの環境基準は、平成23年度から0.003 mg/L(22年度までは0.01 mg/L)に変更された。
 3)平成26年度からトリクロロエチレンの基準値は、従前の0.03 mg/Lから0.01 mg/Lに変更された。(平26.11.17 薬告126)
 4)整合を図るべき基準:「君津環境管理センター増設事業に係る環境影響評価書」(平成21年5月 新井総合施設株式会社)による。
 5)<:定量下限値未満、():測定値の(最小値~最大値)、*:定量下限値未満を定量下限値に置き換えて平均値を算出した値
 6) は環境基準を未達成
 出典:「君津環境整備センター環境調査 年報」(平成22~23年度:株式会社日鉄ウォーター、平成24~26年度:日鉄住金環境株式会社)

表3-1-4.8(2) 河川放流口(調整池下流)の水質の状況(平成26年度・月別)

項目		単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	環境 ¹⁾ 基準	整合を図 ²⁾ るべき基準
採取状況	採取口	—	4/2	5/7	6/4	7/2	8/22	9/3	10/21	11/5	12/3	1/7	2/4	3/11	—	—
	採取時刻	—	11:03	10:23	8:55	9:00	8:56	9:00	9:28	14:42	9:30	10:50	10:42	9:20	—	—
	水温	℃	19.8	24.4	26.8	28.3	31.1	21.9	23.3	24.2	21.0	11.9	14.3	15.4	—	—
有害物質以外	水素イオン濃度	—	7.4	7.6	7.3	7.6	7.6	7.9	7.6	7.2	7.4	7.5	7.7	7.5	6.5~8.5	6.5~8.5
	生物化学的酸素要求量	mg/L	0.6	1.7	1.1	1.5	1.1	1.5	0.7	0.5	0.7	0.8	<0.5	0.7	2.0	2.0
	化学的酸素要求量	mg/L	1.8	2.4	2.7	2.9	2.7	3.8	3.5	2.9	2.7	3.0	3.2	5.3	—	8
	浮遊物質	mg/L	3	3	2	4	2	19	6	<1	5	8	5	25	25	25
	窒素含有量	mg/L	0.9	1.2	1.4	1.2	1.6	0.4	0.7	0.6	0.7	0.8	1.7	1.1	—	5~10
	りん含有量	mg/L	0.06	0.05	0.06	0.06	0.04	0.15	0.07	0.05	0.07	0.09	0.06	0.10	—	1.6
	塩化物イオン	mg/L	600	530	500	440	440	18	360	360	660	500	640	570	—	500~700
有害物質	カドミウム及びその化合物	mg/L	—	—	—	<0.002	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	0.003	0.01
	シアン化合物	mg/L	—	—	—	不検出	—	—	—	—	—	不検出	—	—	不検出	—
	有機りん化合物	mg/L	—	—	—	不検出	—	—	—	—	—	不検出	—	—	—	—
	鉛及びその化合物	mg/L	—	—	—	<0.005	—	—	—	—	—	<0.005	—	—	0.01	0.01
	六価クロム化合物	mg/L	—	—	—	<0.04	—	—	—	—	—	<0.04	—	—	0.05	0.05
	砒素及びその化合物	mg/L	—	—	—	<0.005	—	—	—	—	—	<0.005	—	—	0.01	0.01
	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	—	—	—	<0.0005	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	0.0005	0.0005
	アルキル水銀化合物	mg/L	—	—	—	不検出	—	—	—	—	—	不検出	—	—	不検出	—
	PCB	mg/L	—	—	—	不検出	—	—	—	—	—	不検出	—	—	不検出	—
	トリクロエチレン	mg/L	—	—	—	<0.001	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	0.03・ 0.01 ³⁾	—
	テトラクロエチレン	mg/L	—	—	—	<0.001	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	0.01	—
	ジクロロメタン	mg/L	—	—	—	<0.001	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	0.02	—
	四塩化炭素	mg/L	—	—	—	<0.0002	—	—	—	—	—	<0.0002	—	—	0.002	—
	1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	—	—	<0.0004	—	—	—	—	—	<0.0004	—	—	0.004	—
	1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	<0.001	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	0.1	—
	シス-1,2 ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	<0.001	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	0.04	—
	1,1,1 トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	<0.001	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	1	—
	1,1,2 トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	<0.0006	—	—	—	—	—	<0.0006	—	—	0.006	—
	1,3 ジクロロプロペン	mg/L	—	—	—	<0.0002	—	—	—	—	—	<0.0002	—	—	0.002	—
	チウラム	mg/L	—	—	—	<0.0006	—	—	—	—	—	<0.0006	—	—	0.006	—
	シマジン	mg/L	—	—	—	<0.0003	—	—	—	—	—	<0.0003	—	—	0.003	—
	チオベンカルブ ⁴⁾	mg/L	—	—	—	<0.002	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	0.02	—
ベンゼン	mg/L	—	—	—	<0.001	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	0.01	—	
セレン及びその化合物	mg/L	—	—	—	<0.002	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	0.01	0.01	
ほう素及びその化合物	mg/L	—	—	—	<0.05	—	—	—	—	—	0.06	—	—	1	1	
ふっ素及びその化合物	mg/L	—	—	—	<0.1	—	—	—	—	—	<0.1	—	—	0.8	0.8	
アモニウム化合物、亜硝酸 化合物及び硝酸化合物	mg/L	—	—	—	0.39	—	—	—	—	—	0.38	—	—	10	10	
ダイオキシン類	ng TEQ/L	—	—	—	0.089	—	—	—	—	—	0.13	—	—	1	1	
有害物質以外	鉱油類含有量	mg/L	—	—	—	<1	—	—	—	—	—	<1	—	—	—	—
	動植物油脂類含有量	mg/L	—	—	—	<1	—	—	—	—	—	<1	—	—	—	—
	フェノール類含有量	mg/L	—	—	—	<0.005	—	—	—	—	—	<0.005	—	—	—	—
	銅含有量	mg/L	—	—	—	<0.05	—	—	—	—	—	<0.05	—	—	—	0.1
	亜鉛含有量	mg/L	—	—	—	<0.05	—	—	—	—	—	<0.05	—	—	—	0.1
	溶解性鉄含有量	mg/L	—	—	—	0.13	—	—	—	—	—	0.12	—	—	—	0.5
	溶解性マンガン含有量	mg/L	—	—	—	0.11	—	—	—	—	—	0.17	—	—	—	0.5
クロム含有量	mg/L	—	—	—	<0.03	—	—	—	—	—	<0.03	—	—	—	0.05	
大腸菌群数	個/cm ³	—	—	—	0	—	—	—	—	—	0	—	—	—	—	

注1) 公共用水の水質汚濁に関する環境基準(平成9.3.13 環告10、最終改正:平成26.11.17 環告126)ただし、A類型の環境基準

2)平成26年度からトリクロロエチレンの基準値は、従前の0.03 mg/Lから0.01 mg/Lに変更された。(平成26.11.17 環告126)

3)整合を図るべき基準:「君津環境管理センター増設事業に係る環境影響評価書」(平成21年5月 新井総合施設株式会社)による。

4)<:測定下限値未満

出典:「君津環境整備センター環境調査 平成26年度年報」(平成27年4月 日鉄住金環境株式会社)

表 3-1-4.9 (1) 放流水の水質の状況 (年度別平均値)

項目	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	排水 ¹⁾ 基準	維持管理 ²⁾ 理目標値
採取回数	回/年	・1,4-ジオキサン、ダイオキシン類を除く全項目:12 (ただし、22年度は11) / ・1,4-ジオキサン: 22年度11、23,24年度12、25年度3、26年度1 / ・ダイオキシン類:2					—	—
水温	℃	22.6 (16.3~31.0)	22.0 (14.8~29.4)	22.9 (13.1~30.0)	24.3 (14.4~34.0)	25.3 (15.4~35.2)	—	—
透視度	度	>30	>30	>30	>30	>30	—	—
残留塩素	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	—	—
放流量	m ³ /日	200.8 (169.9~265.4)	140.7 (63.9~205.5)	240.0 (102.4~300.0)	302.5 (220.1~393.4)	286.4 (136.3~422.5)	—	—
	m ³ /時	8.4 (7.1~11.1)	5.9 (2.7~8.6)	10.0 (4.3~12.5)	12.6 (9.1~16.3)	11.9 (5.7~17.6)	—	—
有害物質								
カリウム及びその化合物	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.01	0.01
シアン化合物	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
有機りん化合物	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
鉛及びその化合物	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.1	0.01
六価クロム化合物	mg/L	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	0.05	0.05
砒素及びその化合物	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05	0.05
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005	0.0005
アルキル水銀化合物	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
PCB	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
トリクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.3	0.03
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.1	0.01
ジクロロメタン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.2	0.02
四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.02	0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.04	0.004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.2	0.02
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.4	0.04
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	3	1
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.06	0.006
1,3-ジクロロプロパン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.02	0.002
チウラム	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.06	0.006
シマジン	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.03	0.003
チオベンカルブ	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.2	0.02
ベンゼン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.1	0.01
フェン及びその化合物	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.1	0.01
ほう素及びその化合物	mg/L	5.0 (3.2~6.4)	5.8 (4.5~8.6)	3.3 (0.6~5.4)	0.2* (0.05~0.7)	0.05* (0.05~0.07)	10	1.6
ふっ素及びその化合物	mg/L	0.2* (0.1~0.6)	0.3* (0.1~0.7)	0.2* (0.1~0.4)	0.1* (0.1~0.3)	0.1* (0.1~0.1)	8	1.3
アモニウム化合物、亜硝酸 化合物及び硝酸化合物	mg/L	1.5 (0.23~3.2)	1.3 (0.35~2.2)	1.0 (0.12~4.2)	0.52* (0.05~1.1)	0.46 (0.13~1.2)	100	10
1,4-ジオキサン	mg/L	—	—	—	<0.05	0.014	0.5	0.05
有害物質以外								
水素イオン濃度	—	7.1 (7.0~7.3)	7.1 (6.8~7.6)	7.0 (6.5~7.5)	6.8 (6.4~7.2)	6.9 (6.4~7.5)	5.8~8.6	5.8~8.6
生物学的酸素要求量	mg/L	0.8* (0.5~2.1)	0.5* (0.3~0.6)	0.7* (0.5~1.8)	0.6* (0.5~0.9)	0.6* (0.5~1.4)	20	2.9
化学的酸素要求量	mg/L	6.4 (3.0~9.2)	5.2 (2.7~8.9)	5.0 (1.0~8.5)	1.6 (0.6~2.7)	2.4 (1.0~3.9)	20	4.3
浮遊物質	mg/L	1.0* (1~1)	1.2* (1~2)	1* (1~2)	<1	<1	40	2.2
鉱油類含有量	mg/L	<1	<1	<1	<1	<1	3	1
動植物油脂類含有量	mg/L	<1	<1	<1	<1	<1	5	1
フェノール類含有量	mg/L	0.008* (0.005~0.016)	0.006* (0.0036~0.012)	<0.005	<0.005	<0.005	0.5	0.05
銅含有量	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	1	0.1
亜鉛含有量	mg/L	0.23 (0.07~0.76)	0.14 (0.06~0.31)	0.14* (0.05~0.55)	0.07* (0.05~0.12)	0.05* (0.05~0.05)	1	0.1
溶解性鉄含有量	mg/L	0.06* (0.05~0.11)	0.09* (0.05~0.15)	0.06* (0.05~0.09)	0.10* (0.05~0.23)	0.11* (0.05~0.22)	5	0.5
溶解性マンガン含有量	mg/L	2.0 (0.73~4.0)	1.2 (0.23~1.6)	1.9 (0.17~4.2)	0.15* (0.05~0.35)	0.20* (0.05~0.38)	5	0.5
クロム含有量	mg/L	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	0.5	0.05
大腸菌群数	個/cm	11 (0~120)	0	0	0	0	3000	300
窒素含有量	mg/L	3.8 (2.6~5.1)	3.4 (1.9~7.7)	4.2 (0.8~14)	1.2 (0.6~2.3)	1.2 (0.5~2.0)	120	6.5
りん含有量	mg/L	0.09 (0.04~0.15)	0.08* (0.01~0.17)	0.06* (0.01~0.18)	0.02* (0.01~0.04)	0.03 (0.02~0.08)	16	1
塩化物イオン	mg/L	5364 (3700~6400)	6925 (4400~8000)	5388 (510~8500)	634 (93~860)	618 (360~820)	—	1050
ダイオキシン類	ng/0.1L	0.00063 (0.00061~0.00064)	0.0067 (0.00036~0.013)	0.0022 (0.00015~0.00029)	0.00029 (0.0002~0.00038)	0.00048 (0.000095~0.00086)	10 ²⁾	0.1

注1)排水基準:若津市小瀬川流域に係る水道水源の水質の保全に関する条例に基づく排水基準(平7.9.1 若津市規則第25号)
 2)ダイオキシン類対策特別措置法に基づく水質排出基準(平11.12.27 総理府令第67号)
 3)維持管理目標値:「若津環境管理センター増設事業に係る環境影響評価書(平成21年5月 新井総合建設株式会社)による。
 4) <:定常下限値未満、():測定値の(最小値~最大値)、*:定常下限値未満を定常下限値に置き換えて平均値を算出した値
 出典: 若津環境整備センター環境調査 年報(平成22~23年度:株式会社日鉄ウオータース、平成24~26年度:日鉄住金環境株式会社)